

双ヶ丘中だより



京都市立双ヶ丘中学校 1/30 第27号 文責 林

学校教育目標 「自らの未来を切り拓く、心豊かな生徒を育成する」

学校運営協議会主催 防災訓練

1月28日（土）に学校運営協議会主催の3学区消防分団防災訓練が本校で行われました。昨年までは、避難所設営体験を行っていましたが、今年度は新しい取組として防災訓練を行いました。御室、宇多野、花園学区の消防分団の方々にご来校いただき、3グループに分かれて防災訓練を実施しました。御室消防分団は、「日常におけるケガ等への対処方法」、宇多野消防分団は、心肺蘇生法、花園消防分団は、「初期消火訓練」を担当されました。2年生の部活動の生徒が約100名参加し、3グループに分かれてローテーションをしながら体験をしました。「日常におけるケガ等への対処方法」では、竹ざおと毛布を使っての担架の作り方やタオルを使っての止血法などを学びました。心肺蘇生法は、心臓マッサージのやり方やAEDの使い方をわかりやすく教えていただきました。「初期消火訓練」では実際に消火器を使っての初期消火の方法を体験しました。地域からも多くの方々に参加していただき、生徒と一緒にになって訓練をされていました。災害が起きた時に中学生は「助けてもらう」側だけでなく「助ける」側になることも期待されています。特に幼児や高齢の方々、身体の不自由な方々を助けていく必要が出てきます。当日は、地域の方々も中学生の若い力を頼もしく感じられたようです。今回の防災訓練がいざという時に活かされることを願っています。

防災訓練の最後に地域の女性会の方々にご協力いただき、非常食体験も行いました。実際にアルファ化米を試食しました。試食することでいざという時の心構えができたと感じます。ご協力に感謝いたします。



全国健康づくり推進学校 優良賞

今年度、本校は全国健康づくり推進学校 優良賞を受賞しました。本校が続けている健康診断のうち特に歯科検診で、学校歯科医の先生が必要と判断した生徒に歯科衛生士の方からブラッシング指導をしてもらっています。その結果、生徒はブラッシングの重要さを実感して毎日のブラッシングに励むようになります。そして、生徒は歯の健康に意識を高めています。歯の健康について表彰を受ける生徒が多いのも歯科検診の効果です。また、昨年度まで続けてきた避難所設営体験も地域の方々と協力して効果が大きかったです。このような本校の取組が評価されての受賞となりました。

今後も家庭や地域と連携しながら生徒の健康づくりの意識を高めていきたいと考えています。ご協力ををお願いいたします。

（裏面に2月の行事予定をのせてあります。ご覧ください。）

